

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	○介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ○尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
ア 基礎知識の学習 ① 介護の基本的な考え方	3	3		介護の基本的な考え方 1) 理論に基づく介護 2) 法的根拠に基づく介護
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	4		介護に関するこころのしくみの基礎的理解 1) 学習と記憶に関する基礎知識 2) 感情と意欲に関する基礎知識 3) 自己概念と生きがい 4) 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	4		介護に関するからだのしくみの基礎知識 1) 生命の維持・恒常のしくみ 2) 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 3) 骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用 4) 中枢神経と体性神経に関する基礎知識 5) 自律神経と内部器官に関する基礎知識
イ 生活支援技術の講義・演習 ④ 生活と家事	4	4		家事と生活 1) 生活と家事の理解 2) 家族援助に関する基礎的知識と生活支援
⑤ 快適な居住環境整備と介護	4	4		快適な居住環境整備と介護 1) 快適な居住環境に関する基礎知識 2) 高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用
⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	5		整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1) 整容に関する黄氏知識 2) 整容の支援技術 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7		移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1) 移動・移乗に関する基礎知識 2) 移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法 3) 利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援 4) 移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 5) 移動と社会参加の留意点と支援 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う

(合計時間数)	31	31		
---------	----	----	--	--

使用する機器・備品等	(別添2-6) 実技演習使用備品一覧表に記載した備品を使用。
------------	--------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	○介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ○尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑧ 食事に関連したこころとからだのしくみと自立のに向けた介護	7	7		食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1) 食事にに関する基礎知識 2) 食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法 3) 楽しい食事を阻害する要因の理解とその支援方法 4) 食事と社会参加の留意点と支援 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
⑨ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立のに向けた介護	7	7		入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1) 入浴・清潔保持に関する基礎知識 2) 入浴・清潔保持に関する用具の活用方法 3) 楽しい入浴を阻害する要因の理解とその支援方法 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
⑩ 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立のに向けた介護	7	7		排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1) 排泄に関する基礎知識 2) 排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 3) 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
⑪ 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	5		睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1) 睡眠に関する基礎知識 2) 睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 3) 快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法
⑫ 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと自立	6	6		死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 1) 終末期に関する基礎知識 2) 生から死への過程 3) 「死」に向き合うこころの理解 4) 苦痛の少ない死への支援
ウ 生活支援技術演習 ⑬ 介護課程の基礎的理解	6	6		介護過程の基礎的理解 1) 介護過程の目的・意義・展開 2) 介護過程とチームアプローチ (演習の実施方法) 班体制によるディスカッションを行う
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6		総合生活支援技術演習 1) 演習を行うにあたって 2) 「食べたくない」と訴える施設入所者の援助 3) できるだけ外に出かけたいと思っている利用者の援助 4) トイレでの排泄にこだわりをもつ利用者の援助

				(演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
(合計時間数)	44	44		

使用する機器・備品等	(別添2-6) 実技演習使用備品一覧表に記載した備品を使用。
------------	--------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅、施設の何れの場合であっても、「利用者の生活の拠点に共に居る」という意識を持って、その状態における模擬演習（身だしなみ、言葉遣い、対応の態度等の礼節を含む。）を行い、業務における基本的態度の視点を持って介護を行えるよう理解を促す。 ・研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきこと講義等により再確認を促す。 ・修了後も継続的に学習することを前提に、継続的介護職が身につけるべき知識や技術の体系を理解できるよう促す。 ・最新知識の付与と、次のステップ（職場環境への早期適応等）へ向けての課題を受講者が認識できるよう促す 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		1) 模擬演習を通しての介護基本的態度の振り返り 2) 研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと (演習の実施方法) 班体制によるディスカッション等を行う (実習) 施設見学
② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	2		1) 継続的に学ぶべきこと 2) 継続的に行っている研修を事業所等における実例を紹介 (演習の実施方法) 班体制によるケース・スタディを行う
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。